

哲学委員会哲学・倫理・宗教教育分科会（第25期・第9回）
議事要旨

日時：令和4年12月10日（土）10：00～11：00

会場：オンライン（Zoomミーティング）

出席者：中村征樹（委員長）、一ノ瀬正樹、上原麻有子、香川知晶、河野哲也、
小島優子、下田正弘、土井健司、直江清隆、永崎研宣、野家啓一、藤
原聖子、八木久美子、奥田太郎（幹事）

審議事項

1. 哲学委員会委員長からの報告

第3回合同分科会として、哲学委員会委員長からの学術会議の動向に関する情報提供があった。

2. 前回議事要旨の確認

関連資料が提示され、前回議事要旨が確認された。

3. 今後の活動について

これまでの議論を振り返り、分科会としての今後の活動について下記の点が確認された。

- ・ 現行の教科書を批判するのではなく、具体的にどのようにすればよりよい教科書になるのかを示す提案をするべきである。
- ・ 「考え、議論する道徳」という方針に見合った教科書のあり方を提案していく。
- ・ 道徳教科書は、必ずしも哲学を専門として学んでいない先生が多く使うこと、他分野にわたる内容を扱っていること等を踏まえ、道徳教育の研究者、他領域の研究者や、現場の先生とともに検討していく必要がある。
- ・ 教科書は定期的に改訂されるので、改訂の参考にされうる提案を出せるとよい。

4. 今後の予定について

2023年3月頃に、中学の道徳の教科書3社を中心にテクノロジーに関する記述を検討する研究会を開催する。